

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(1年生) 【国語】

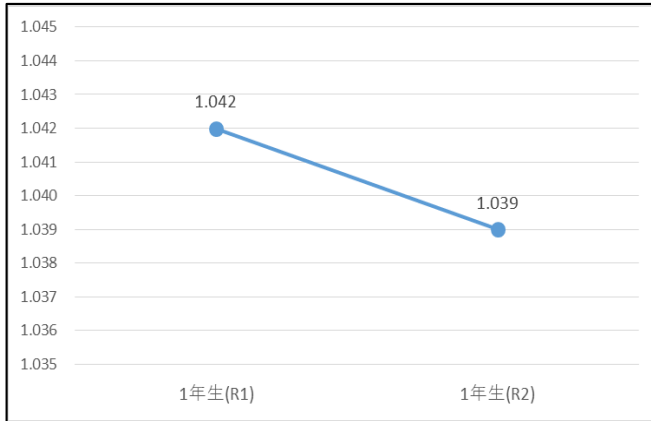
## ■ 平均点

交野市	大阪府
58.3	56.1

## ■ 無解答率

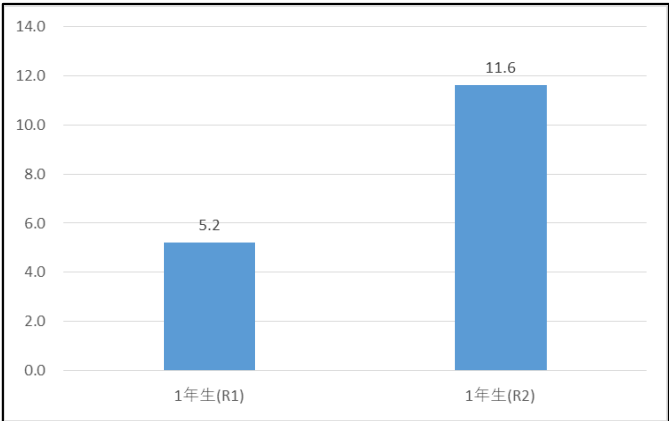
交野市	大阪府
11.6	12.7

## ■ 平均点府比 経年比較



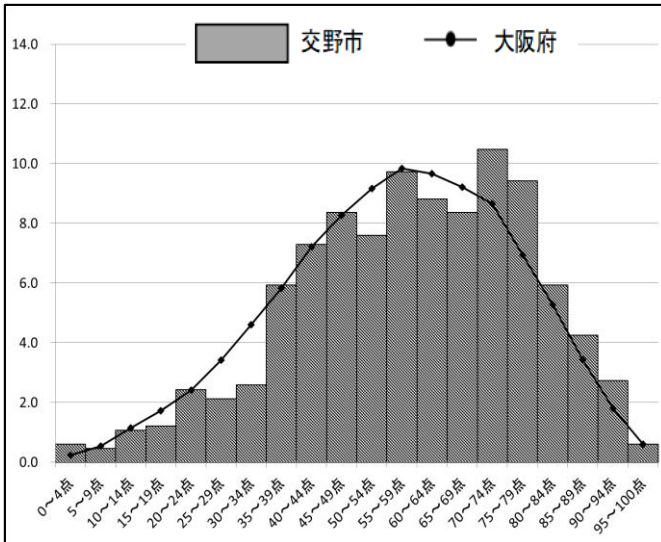
・大阪府平均を2.2ポイント上回っているが、昨年度と比べ、その差は縮まっている。

## ■ 無解答率 経年比較



・大阪府の無解答率より1.1ポイント下回っている。  
・昨年度より6.4ポイント高くなっている。

## ■ 得点分布



## ■ 領域・観点・問題形式別 得点率



○得点分布は、大阪府と同じ傾向になっている。また、70～74点の分布が最も多くなっている。  
○「話す・聞く能力」の得点率が73.5%、「言語についての知識・理解・技能」が59.4%となっており、他の観点と比べ、高い得点率となっている。  
●「読む能力」の得点率が49.7%と他の観点と比べ低い結果となっている。特に「古典作品において、場面や登場人物などの描写を注意して読み、内容を理解すること」に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(1年生) 【数学】

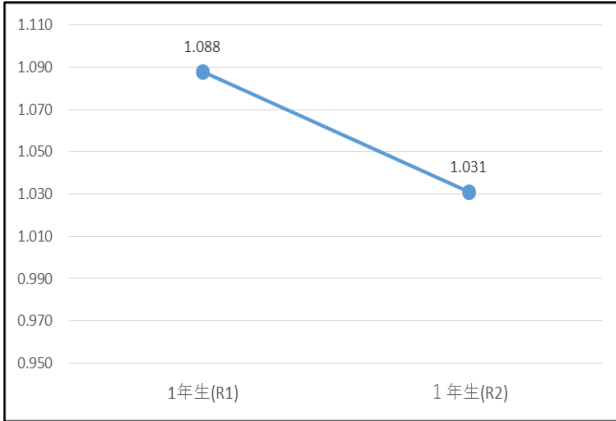
## ■平均点

交野市	大阪府
55.7	54.0

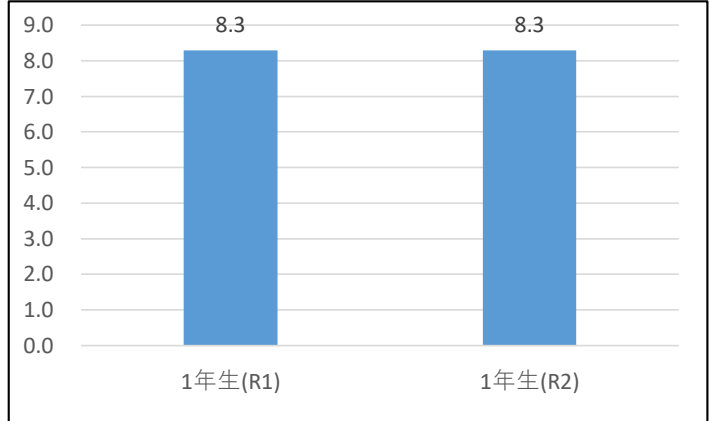
## ■無解答率

交野市	大阪府
8.3	10.6

## ■平均点府比 経年比較



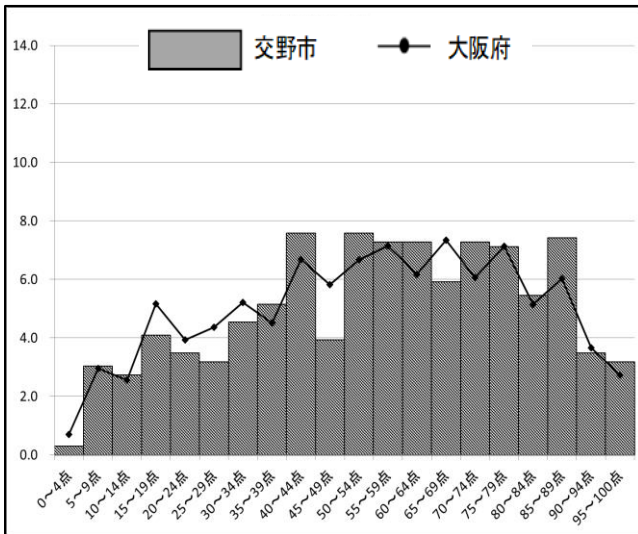
## ■無解答率 経年比較



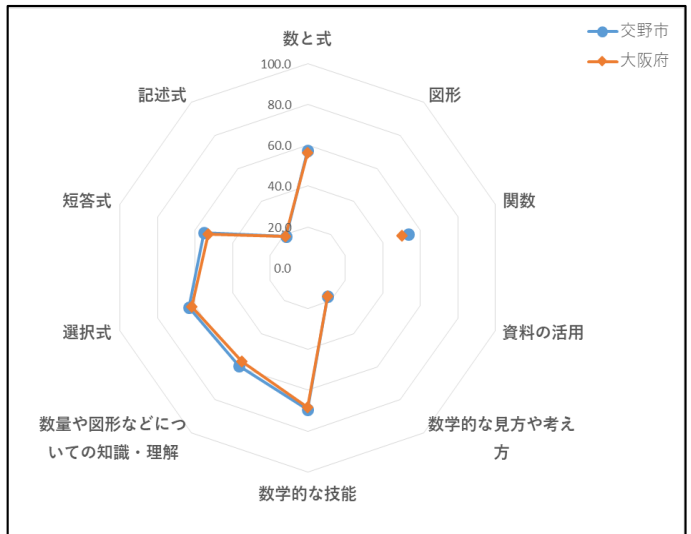
・大阪府平均を1.7ポイント上回っているが、昨年度と比べ、その差は縮まっている。

・大阪府の無解答率より2.3ポイント下回っている。  
・昨年度の無解答率と同じである。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



○得点分布は、大阪府とほぼ同じ傾向になっている。また、50~54点、次いで85~89点の分布が多くなっている。

○「数学的な技能」の得点率は69.4%となっており、他の観点と比べて高い。

●「数学的な見方や考え方」の得点率が17.2%と他の観点と比べて低い結果となっている。特に記述式の問題に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(1年生) 【英語】

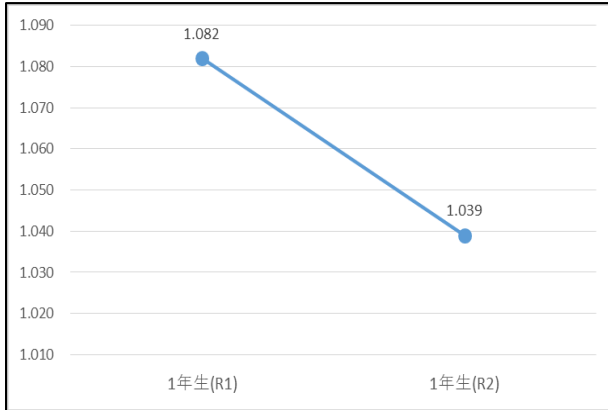
## ■平均点

交野市	大阪府
66.3	63.8

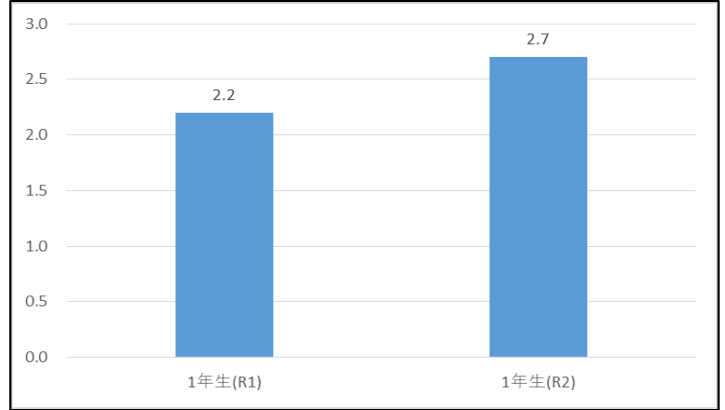
## ■無解答率

交野市	大阪府
2.7	3.3

## ■平均点府比 経年比較



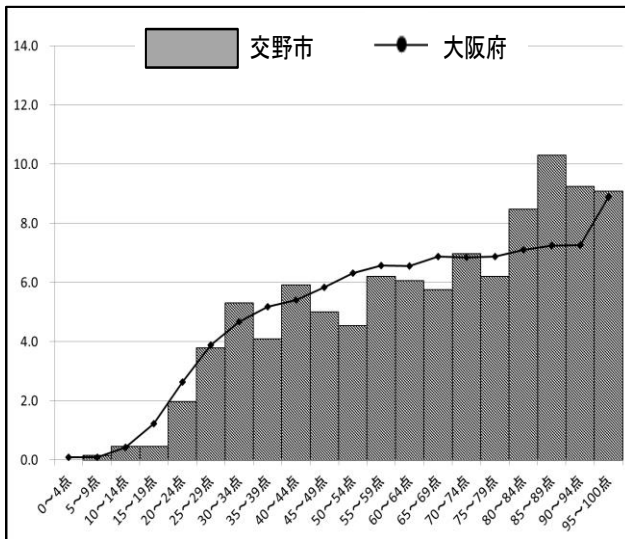
## ■無解答率 経年比較



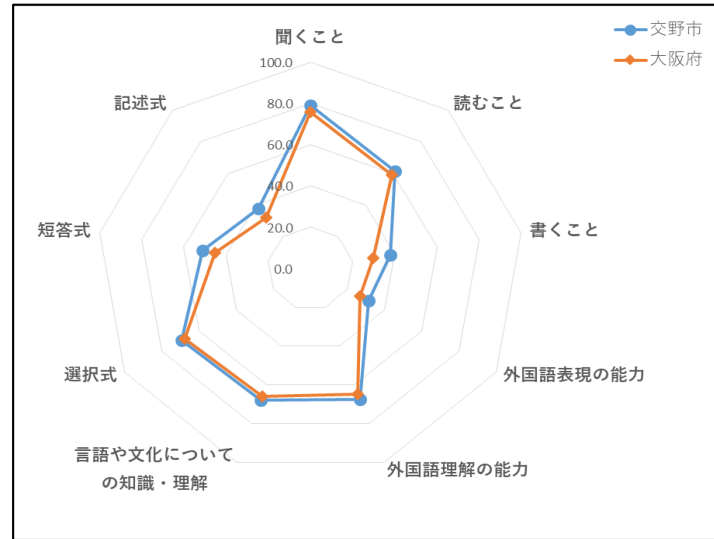
・大阪府平均を2.5ポイント上回っているが、昨年度と比べ、その差は縮まっている。

・大阪府の無解答率より0.6ポイント下回っている。  
・昨年度の無解答率より0.5ポイント高くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



- 得点分布は、大阪府の分布より右寄りになっており、85～89点の分布が最も多くなっている。
- すべての領域、観点、問題形式別において、大阪府の得点率を上回っている。領域では「聞くこと」の得点率が79.2%となっており、他領域と比べ特に高い。
- 「記述式」、「外国語表現の能力」を問う問題の得点率が31.2%となっており、他の観点、問題形式と比べて低い。「手紙文を読み、理解した内容を適切な英語で書くこと」、「記事の内容から、必要な情報を読み取り、読み取ったことを日本語でまとめること」に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生) 【国語】

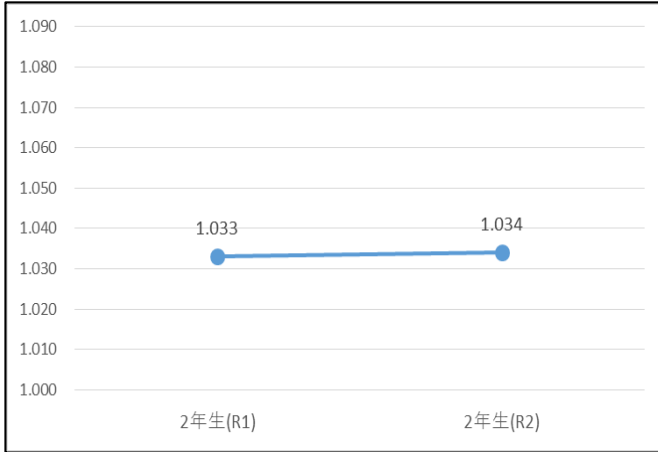
## ■平均点

交野市	大阪府
60.3	58.3

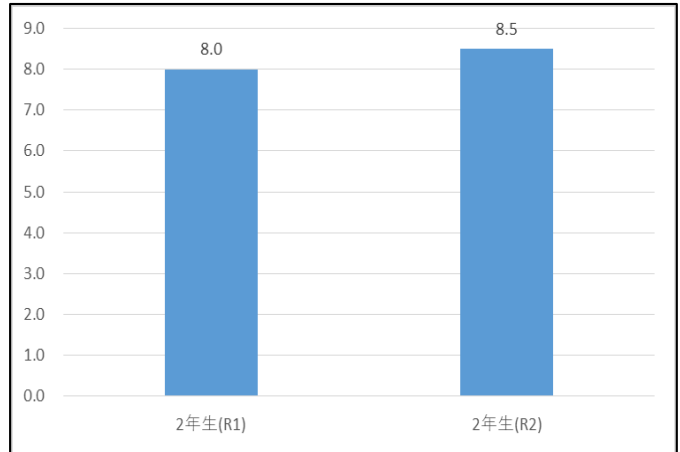
## ■無解答率

交野市	大阪府
8.5	10.1

## ■平均点府比 経年比較



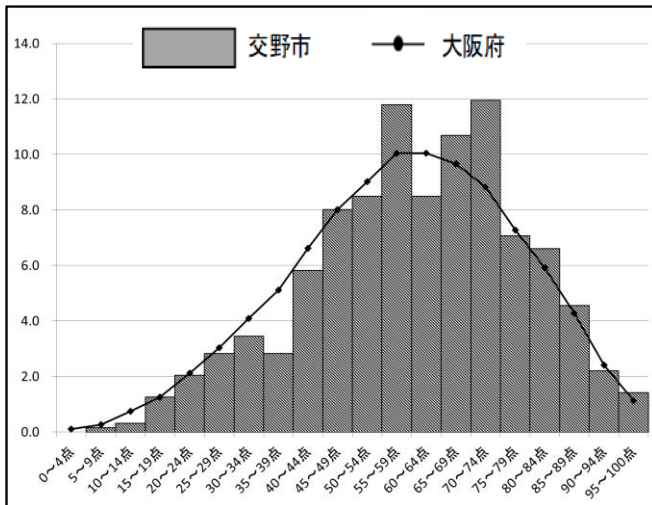
## ■無解答率 経年比較



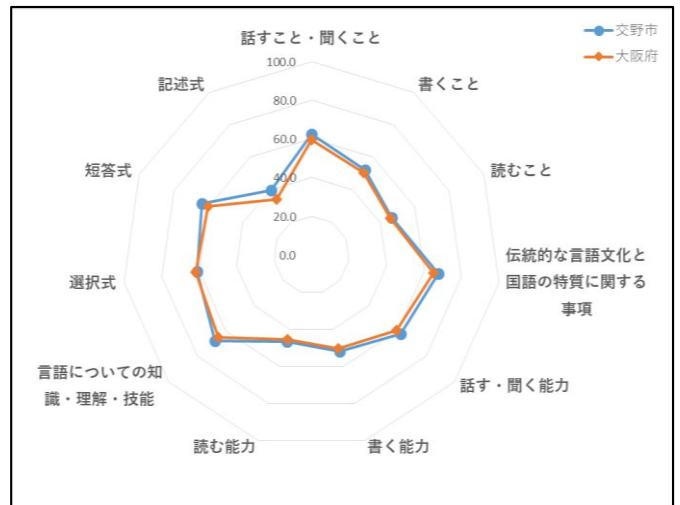
・大阪府平均を2.0ポイント上回っており、その差は、昨年度ほぼ同様の結果である。

・大阪府の無解答率より1.6ポイント下回っている。  
・昨年度の無解答率より0.5ポイント高くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



- 得点分布は、大阪府の分布とほぼ同じ傾向になっている。また、70～74点の分布が最も多い。
- 観点別では「言語についての知識・理解・技能」の得点率が67.8%となっており、他の観点と比べて高かった。「文脈に即して漢字を正しく読み書きすること」、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと」を問う問題では正答率が平均83.4%だった。
- 記述式の得点率は39.7%で他の問題形式より低い。「文章の内容を捉え、字数などの条件を満たして筆者の考え等を書くこと」に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生) 【社会A】

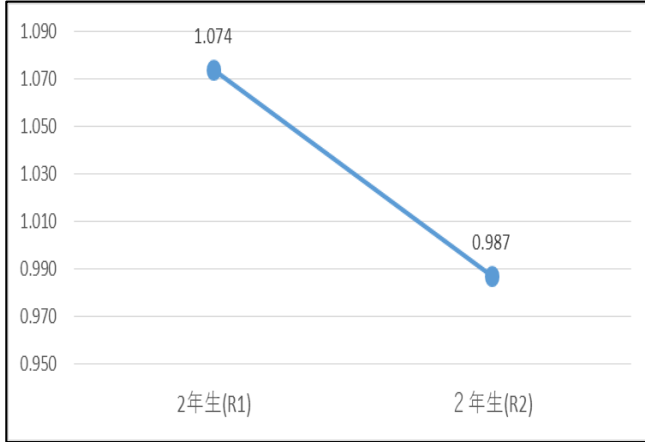
## ■平均点

交野市	大阪府
53.8	54.5

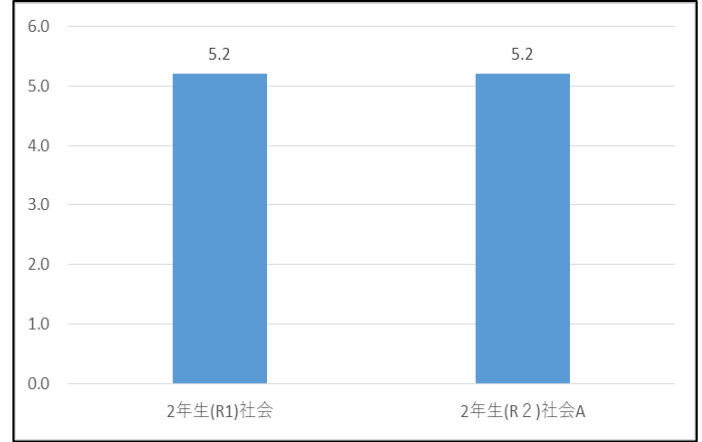
## ■無解答率

交野市	大阪府
5.2	5.8

## ■平均点府比 経年比較



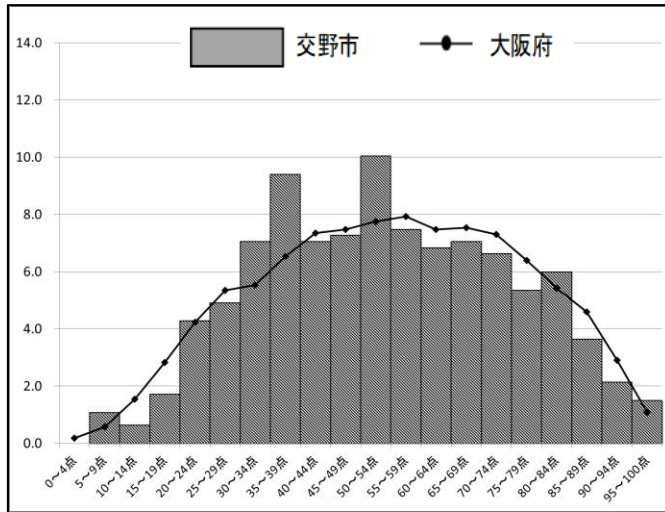
## ■無解答率 経年比較



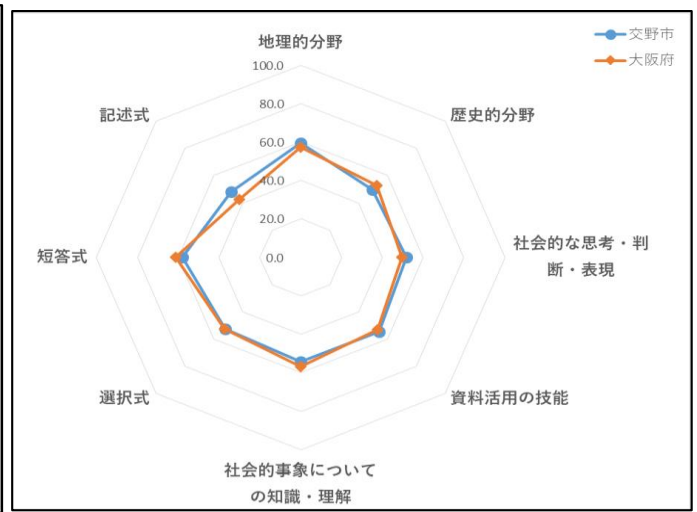
・大阪府平均を0.7ポイント下回っている。地理的分野は大阪府平均を0.9ポイント上回っていたが、歴史的分野は1.7ポイント下回った。

・大阪府の無解答率より0.6ポイント下回っている。  
・昨年度の無解答率と同じである。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



- 得点分布において、大阪府の分布と同じ傾向となっている。また、50～54点の分布が最も多い。
- 「資料活用」の得点率が54.5%と他の観点と比べ高い。「人口ピラミッドの変化から、日本の人口に関する特色を理解すること」を問う問題では大阪府と比べ正答率が高かった。
- 歴史的分野では得点率(49.7%)が低く、「商品作物について理解すること」、「世界の歴史や世界と日本との関係について理解すること」に関して課題がみられた。



# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生) 【社会B】

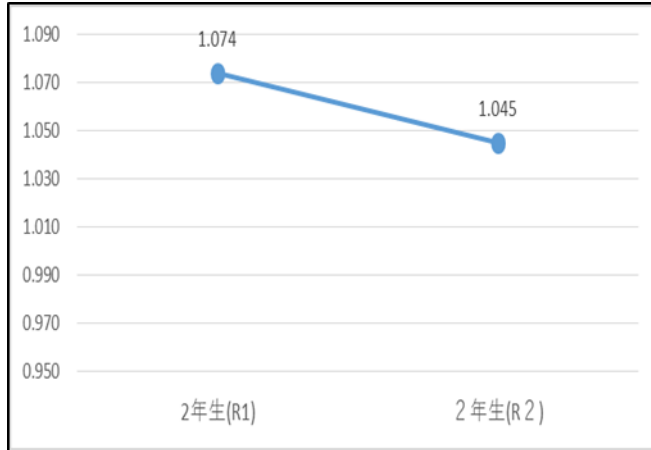
## ■平均点

交野市	大阪府
60.0	57.4

## ■無解答率

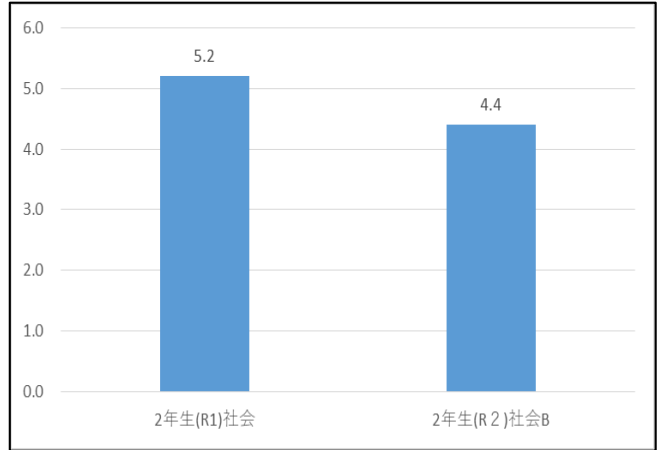
交野市	大阪府
4.4	4.8

## ■平均点府比 経年比較



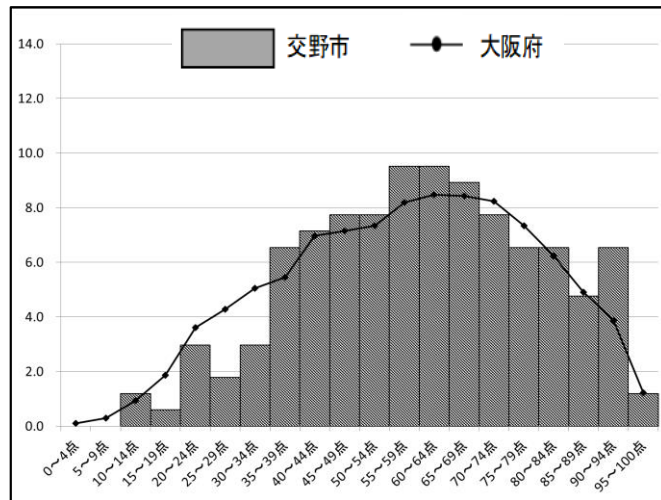
・大阪府平均を2.6ポイント上回っているが、昨年度と比べ、その差は縮まっている。

## ■無解答率 経年比較

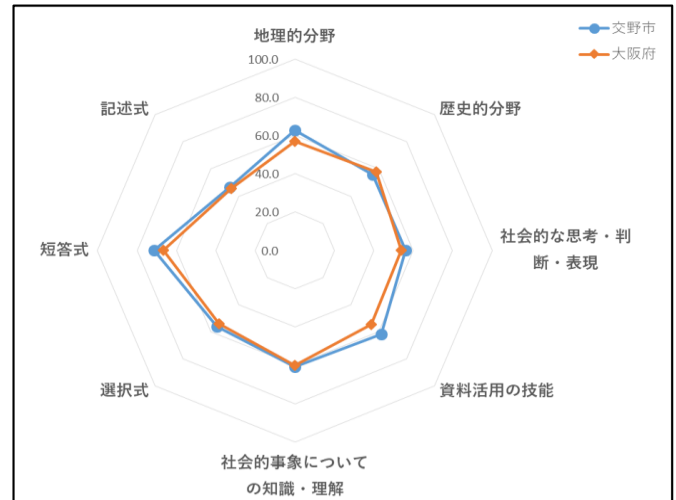


・大阪府の無解答率を0.4ポイント下回っている。  
・昨年度より0.8ポイント低くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



- 得点分布は、大阪府とほぼ同じ傾向となっており、55点～64点が最も多い分布となっている。
- 短答式の得点率が71.5%と他形式と比べ高く、「日本標準時から時差について考察すること」「防災、ハザードマップについて理解すること」を問う問題では、大阪府と比べ特に正答率が高かった。
- 歴史的分野では得点率(55.9%)が低く、「化政文化、商品作物について理解すること」に関して課題がみられた。また、記述式の得点率が他形式と比べ46.7%と低く、「資料から読み取れる情報を踏まえて考察し、適切に説明すること」に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生) 【数学】

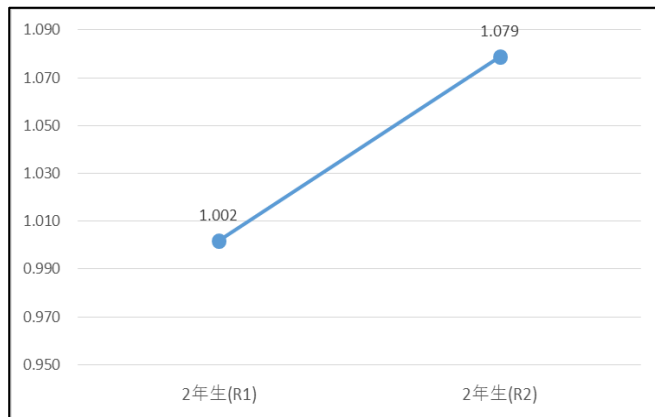
## ■平均点

交野市	大阪府
53.3	49.4

## ■無解答率

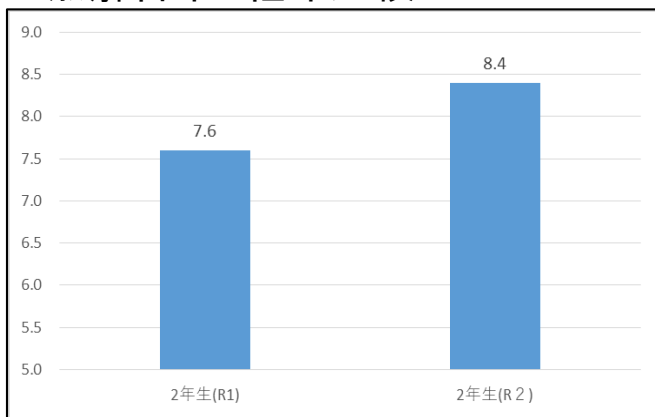
交野市	大阪府
8.4	10.0

## ■平均点府比 経年比較



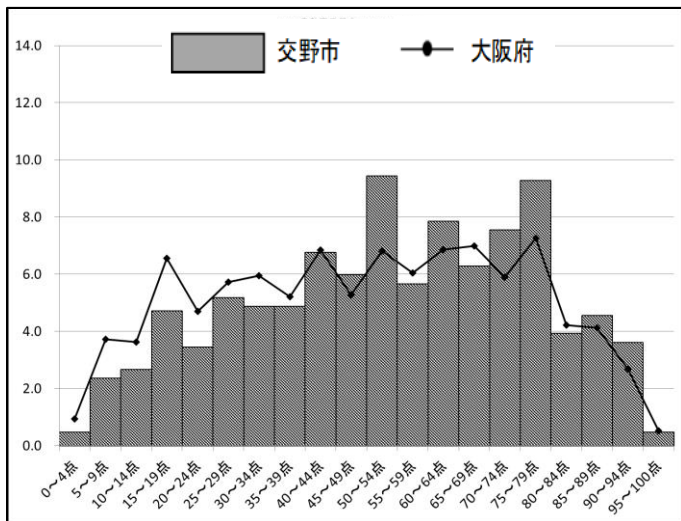
・大阪府平均を3.9ポイント上回っており、昨年度と比べ、その差は大きくなっている。

## ■無解答率 経年比較

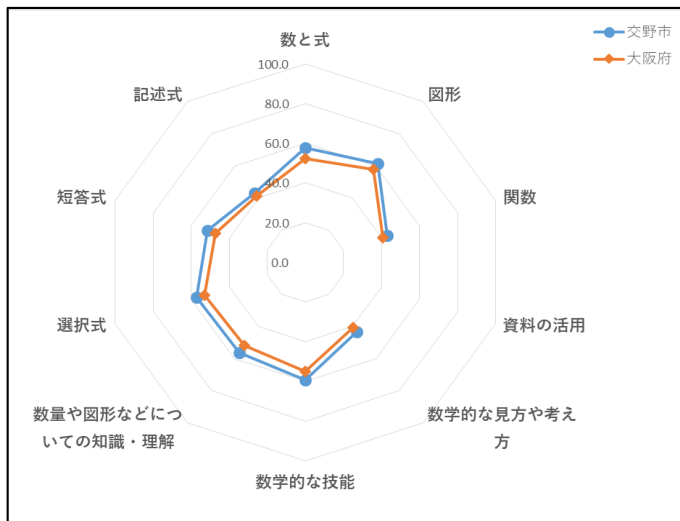


・大阪府の無解答率より1.6ポイント下回っている。  
・昨年度より0.8ポイント高くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



○得点分布は大阪府の分布よりやや右寄りになっており、50~54点が最も多く、次いで75~79点に多く分布している。

○「数学的な技能」が他の観点と比べ59.3%と高い。「簡単な二元一次方程式を解くこと」、「三角形の外角を表す式を内角を用いて表すこと」を問う問題が他の問題と比べ正答率が高かった。

●他の領域、観点と比べ「数学的な見方や考え方」、「関数」の得点率が低かった。「一次関数について、表や式、グラフを相互に関連づけて考察し、表現すること」に関して課題がみられた。

# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生) 【理科】

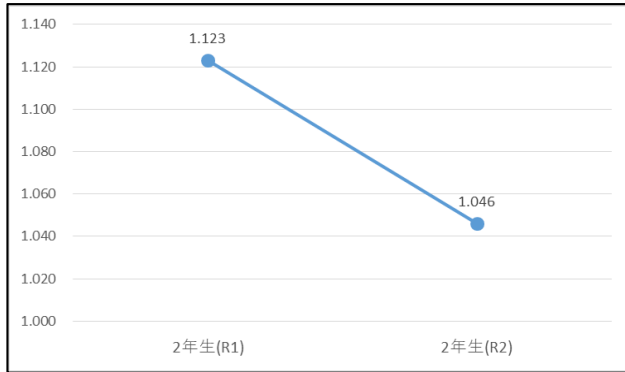
## ■平均点

交野市	大阪府
51.8	49.5

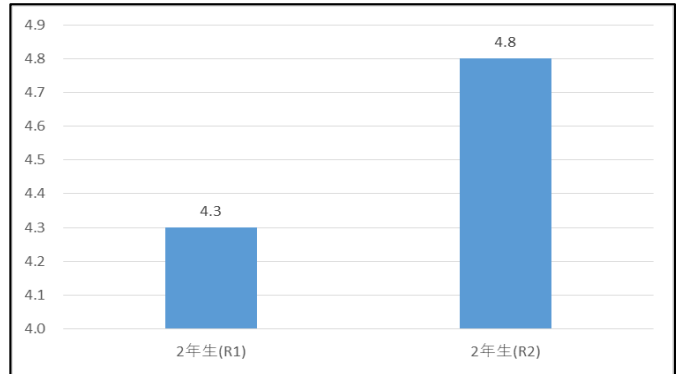
## ■無解答率

交野市	大阪府
4.8	5.8

## ■平均点府比 経年比較



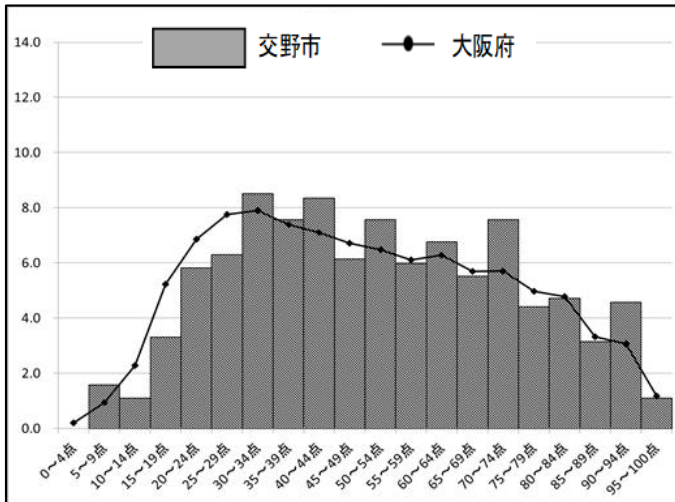
## ■無解答率 経年比較



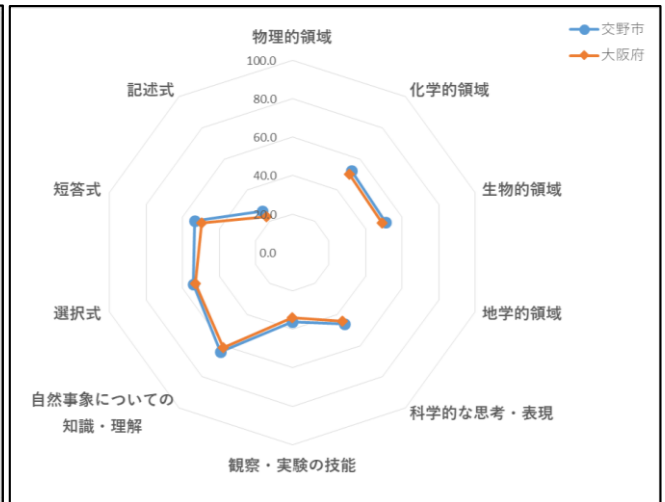
・大阪府平均を2.3ポイント上回っているが、昨年度と比べ、その差は縮まっている。

・大阪府の無解答率より1.0ポイント下回っている。  
・昨年度より0.5ポイント高くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



- 得点分布は大阪府よりやや右寄りになっており、30～34点が最も多く分布している。
- 「自然事象についての知識・理解」の得点率が63.7%と他の観点と比べて高い。「動物を分類する際に、着目すべき特徴を理解していること」、「原子の性質を理解し、化学変化で生じる物質について考えること」を問う問題では、大阪府の平均と比べ正答率が高かった。
- 「観察・実験の技能」の得点率が36.1%と他の観点より低く、「実験やその結果について分析、考察し、条件に応じて表現すること」に関して課題がみられた。



# 令和2年度中学生チャレンジテスト(2年生)【英語】

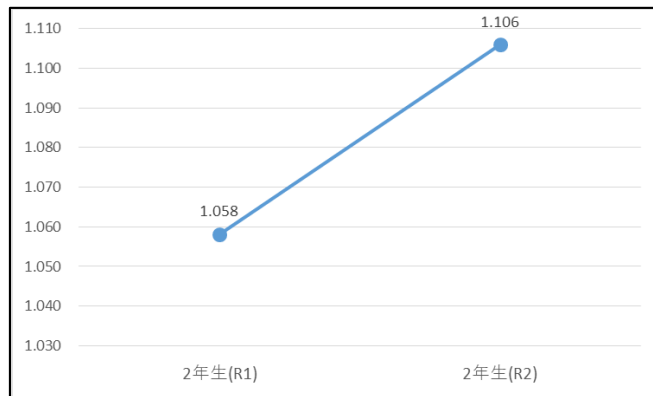
## ■平均点

交野市	大阪府
57.5	52.0

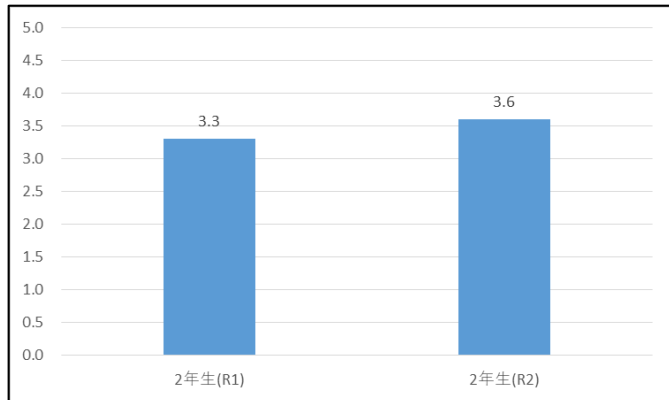
## ■無解答率

交野市	大阪府
3.6	4.8

## ■平均点府比 経年比較



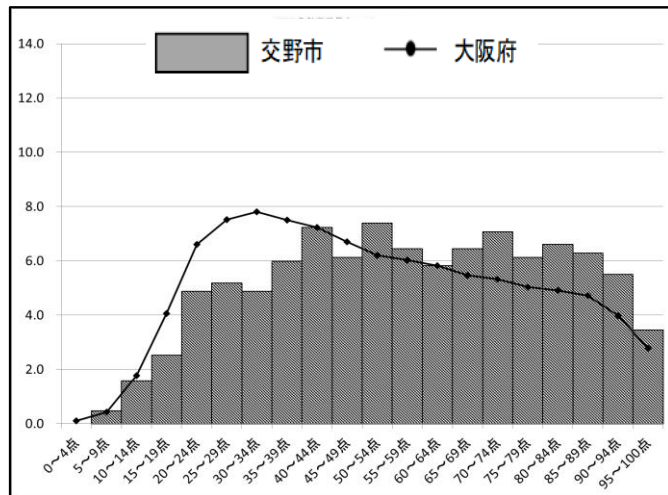
## ■無解答率 経年比較



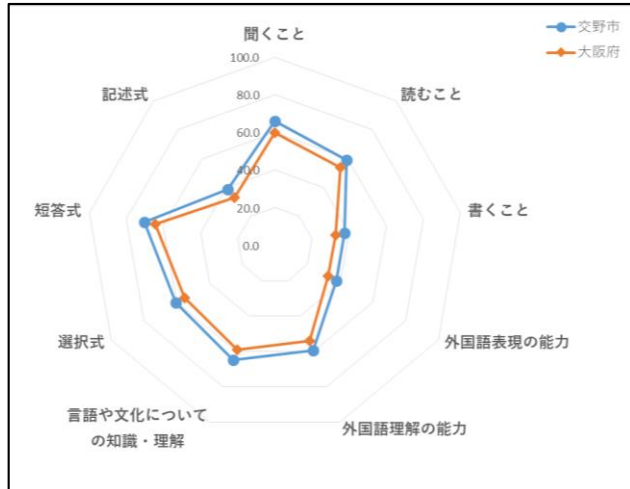
・大阪府平均を5.5ポイント上回っており、昨年度と比べその差は大きくなっている。

・大阪府の無解答率より1.2ポイント下回っている。  
・昨年度より0.3ポイント高くなっている。

## ■得点分布



## ■領域・観点・問題形式別 得点率



○得点分布は、大阪府より右寄りに分布しており、50～54点が最も多く、次いで70～74点に多く分布している。

○「外国語理解の能力」の得点率が59.3%となっており、その出題の中で、「日常的な話題について読み取ること」、「説明している内容から必要となる情報を聴き取ること」に関する問題では、大阪府平均と比べ正答率が高かった。

●領域では「書くこと」、問題形式別では記述式において府と同様に課題がある。「スピーチについて日本語で説明する」問題で無解答率が高く、正答率も府同様、課題があった。